

Tsuyama College		Year	2018	Course Title	Synergy Seminar II
Course Information					
Course Code	0112		Course Category	Specialized / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Department of Computer and Information Engineering		Student Grade	5th	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書，参考書：受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。				
Instructor	KAWANAMI Hiromichi				
Course Objectives					
学習目的：自分の専門知識の基盤の上に立ってより高度に、あるいはより広範囲に学習を展開することで関連領域の技術に関する基礎知識を習得し，複眼的視野と複合領域への対応能力を育成する。					
到達目標： 1．外部で開講される科目の場合には，受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。 ◎ 目標達成のために必要な知識や能力を高め，自身の能力を発揮できる。					
Rubric					
評価項目1			受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。		
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	一般・専門の別：専門 学習の分野：その他 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野： 学科学習目標との関連：本科目は情報工科学習目標「(4) 自発的学習を含む科目の学習を通じて創造性，自主性を身につけるとともに，学んだ技術・知識を具体的なシステム等の作成に応用できる力を身につける。」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化化，A－1：工学に関する基礎知識として，自然科学の幅広い分野の知識を修得し，説明できること，A－2：「電気・電子」，「情報・制御」に関する専門技術分野の知識を修得し，説明できること，A－3：実験・実習をとおして，技術に関する基礎知識の理解を深めるとともに，関連した技能や手法を修得し，説明できること」である。 授業の概要：多様なメニューの中から自主的に履修し，外部で開講される科目や国外における就業体験で本校の教育課程では履修できないがその延長線上にある専門に関連した領域に関する学習をする。				
Style	授業の方法：外部の教育機関（社会にある教育資産・マルチメディア教材を活用した学習形態を含む。）と連携し，内外の施設で開講される科目を履修・授講することで学習を進める。海外インターンシップの場合は，夏期休業期間など学業に差し障りのない期間を利用して国外の企業等で実習を行う。 成績評価方法：評価方法や配分などは受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。合格した者は，担当教員に申し出るとともに学年末試験の最終日までに教務係へ単位修得証明書または実習証明書を添付し単位取得申請を行うこと。履修した科目に関する単位認定は教務委員会で審議する。なお，履修時間が不足するときは学内措置を実施することがある。				
Notice	対象学生：全学科4，5年 履修上の注意：科目の詳細や本校の教育課程との関連，具体的な出願・履修方法，関連機関のシラバスの閲覧などは担当教員・教務係に事前に問い合わせること。所定の期日までに，担当教員の了解（選考を行うことがある。）を得て選択科目履修願など出願・履修に必要な書類を提出すること。 選択科目（自発的学習科目を除く。）の内，教務委員会で認定される単位数は，専門科目については学外実習AまたはBを含む6単位以内（一般科目については4単位以内）である。」関連機関の履修規則などを順守すること。 履修のアドバイス：内外の施設で開講される科目を履修・授講することで学習を進めるので受け入れ機関の規則や受講科目の時間割など制限事項を十分確認すること。海外インターンシップの場合には，海外で日本の技術者がどのように仕事をしているのかを就業体験を通じて理解する。単なる単位の獲得だけを目的としたような履修は厳に慎むこと。 基礎科目： 関連科目： 受講上のアドバイス：社会にある教育資産・マルチメディア教材を有効に活用・連携し，自分の専門を軸足にした「シナジー効果」（シナジーは「相乗作用」を意味する英語で，二つ以上の事柄などが相互に作用し合い，ひとつの効果が機能を高めること。）の発生や「知の総合化」を期待する。ただし，学習のコアである本校の教育課程に沿って無理なく学習できるよう学習計画を綿密にすること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	<外部教育機関> 開講期間や学習内容は受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。 <海外インターンシップ> ・ガイダンス ・受入先企業一覧の掲示 ・派遣先決定および指導教員の決定 ・事前指導 ・国外における実習（1日上限8時間，60時間以上） ・報告および報告書作成 ・報告書および実習証明書提出		

		2nd		
		3rd		
		4th		
		5th		
		6th		
		7th		
		8th		
		2nd Quarter	9th	
	10th			
	11th			
	12th			
	13th			
	14th			
	15th			
	16th			
	2nd Semester	3rd Quarter	1st	
2nd				
3rd				
4th				
5th				
6th				
7th				
8th				
4th Quarter		9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		
Evaluation Method and Weight (%)				
		その他	Total	
Subtotal		100	100	
受け入れ機関の発行するシラバスなどを参照すること。		100	100	